

〔船橋市手話サークルさざんか〕

【団体の概要】

昭和 53 年に設立され、市内で最も会員数の多い手話サークルです。手話を学び、聴覚に障害をもつ人との交流を図りながら、聴覚障害と手話に対する理解を広める活動を行っています。毎月 4 回行う例会では手話学習や講演会、交流会などを行っています。また、社会福祉会館文化祭への参加、船橋市聴覚障害者協会や他の手話サークルと合同での市民まつりへの参加などを通じて、広く一般市民に対する啓発・普及活動も行っています。



【①フィナーレでの手話の大合唱】

事業報告

【支援金確定額：167,148 円 支援率：50.0%】

■実施した事業の内容

手話や聴覚障害者に対する理解を広げるため、まずは一般市民に手話への興味を持ってもらうことを目的に、手話コーラスを中心としたコンサート「つたえる・つながる ハートフルコンサート」を 12 月 22 日（土）に開催しました。勤労市民センター地下ホールに、300 人を超える来場者を迎えることができたのは、支援金によって入場料を無料にできたことが大きいと思います。

小さな子供たちの手話は感動を呼び、手話コーラスでは、曲に合わせての手話表現の美しさや表情の豊かさなどを堪能してもらえたと思います。また、プロ歌手を招いてのステージでは、そのうち 2 曲を手話付きで披露してもらいました。フィナーレでは、会場も巻き込んで手話での大合唱となりました（写真① 観客もみな手を動かしてくれました）。

曲の合間には司会者・聴覚障害者・手話通訳者の 3 人でミニ手話講座を行いました（写真②）。型にはまった講座ではなく、手話を全く知らない司会者が、漫才のような掛け合いトークの中で他の 2 人から手話を教えてもらうという進行。会場の皆さんも、笑いながら手話を覚えられたと好評でした。

情報保障として、船橋市福祉サービス公社に手話通訳と要約筆記（話の内容を要約して筆記します。文字はスクリーンに映し出されるので皆が共有できます）による通訳を依頼しました。トークだけでなく、手話の振り付けのない曲にも手話通訳を付け、全ての楽曲の歌詞をスクリーンに映し出すことなどで、聞こえに関係なく、会場内の全ての方々に興味を持って楽しんでもらえるよう工夫しました（舞台向かって右側が歌詞、左側が要約筆記のスクリーン）。

■支援金の支出内容

支援金は、コンサート出演者への謝礼、会場・備品使用料、チラシ・プログラム等の印刷費、看板作成用消耗品等に支出いたしました。



【②ミニ手話講座】

■事業の成果と今後の展望

アンケート回収率約 36%、うち「楽しかった」が 95%、「これをきっかけに手話への興味を持った」が 49%、感想も「手話を覚えられてよかった」「同様の企画があったらまた参加したい」「心温まる感動的なコンサートだった」など好意的な意見が多かったです。手話に興味を持ってもらうという当初の目的は、おおむね達成できたと考えています。

予算や人員面を考慮して、今後は他団体との合同の企画も検討していきたいと思っています。

■問い合わせ先：副会長 岩淵 由貴（いわぶち ゆき）

TEL：090-8493-7133

Eメール：sazanka33syuwa@gmail.com